

農山村での実践的学習が都市に住む大学生の意識・行動に及ぼす影響 －芝浦工業大学生の愛媛県内子町における実習の事例－

中口 毅博(芝浦工業大学)

キーワード：大学生、高等教育、農山村、実践的学習、ESD

1. はじめに

本報告では、首都圏にある芝浦工業大学生が内子町で行った体験型学習で、意識や行動に影響を及ぼしたかどうかを検証した。

2. プログラムの内容と検証方法

環境システム学科2年生の専門科目「環境調査体験」の一環として、内子町での実習を2014年8月4日(月)～8月9日(土)に行った。参加者は12名(うち女性4名)で、表1のような内容の実習を行った。3年生になった2014年6月に、この12名及び「地域環境政策Ⅰ」受講者29名にアンケート調査を実施し、さらに12名にはインタビュー調査を行って、関心領域などの差や、実習前後の意識変化が生じたかを把握した。

表1 実習内容

内子保育園園児と活動・観察
農産物直売所来訪者アンケート調査
伝統的町並保存関係者インタビュー調査
グリーンカーテン調査(内子中学校と合同)
町並観光客アンケート調査
笹祭りの夢灯りなど設置手伝い
商店街で酒粕うどん販売(内子高生手伝い)

3. 結果

3.1 アンケート調査

「非常に関心がある」と答えた比率を実習参加者と非参加者とで比較したものが表2である。実習参加者が非参加者を上回り統計的に有意となったのは「生物・自然保護」「市民参加・協働」となったが、この2つは農山村という地域特性や実習全体が町民との協働作業だったことが一因と考えられる。また、有意な差とは言えないながら、

「商店街・市街地再生」「歴史的町並み」「観光・エコツアー」など、実習内容と関連の深い領域の関心が高い傾向が見られた。また都市の諸問題に関心が薄い傾向もみられた。

表2 実習参加者と非参加者の関心領域

	内子経験者	非経験者	Z値	有意性
生物・自然保護	42%	10%	2.30	**
市民参加・協働	25%	3%	2.12	**
商店街・市街地再生	25%	14%	0.87	
歴史的町並み	33%	21%	0.86	
観光・エコツアー	25%	21%	0.30	
建築設計	17%	14%	0.24	
環境教育	8%	7%	0.16	
ごみ・リサイクル	17%	17%	-0.04	
大気環境	8%	14%	-0.49	
エネルギー・温暖化	17%	24%	-0.53	
農山村の諸問題	0%	7%	-0.93	
交通	0%	7%	-0.93	
景観・都市デザイン	17%	31%	-0.94	
水辺・河川、水循環	8%	21%	-0.96	
緑化・造園	8%	21%	-0.96	
建築構造	0%	10%	-1.16	
都市の諸問題	8%	28%	-1.36	*
都市計画	17%	41%	-1.52	*
防災	0%	21%	-1.71	**

**95%の確率で有意

3.2 インタビュー調査

実習参加者全員にインタビューしたところ、保育園の子どもたちと遊んだことや、町並保存運動に関する町民インタビューが印象に残ったという学生が多かった。人の結びつきや街づくりへの熱心さを感じ、内子にまた訪れたいという学生が多かった。ただ、内子に行ったことで関心領域や将来の進路が変化したという学生はごくわずかであった。もともと田舎志向だったり環境教育に興味がある学生が、内子に行ったことで、その想いが強まったと解釈できる。